

4-3. 地区住民懇談会の開催

1) 開催目的

- ・地区の現状や住民意向を把握すること
- ・将来の地区公共交通のあり方について住民自らが考える機会（きっかけ）をつくる

2) 開催実施概要

- ・実施時期：平成 21 年 11 月 27 日（金）～12 月 4 日（金）
- ・開催時間：午後 7 時～午後 8 時 30 分（1 時間から 1 時間 30 分程度）
- ・実施単位：地区別（5 地区）に各 1 回実施（実施会場は 7 会場）
- ・配布資料：①「地域の公共交通を考える」
②「アンケート調査結果概要」
③「公共交通網図」
- ・実施内容：①アンケート調査結果概要説明
②配布資料説明
③意見交換
- ・周知方法：集落回覧チラシ及び告知放送

表 4-5. 住民懇談会開催状況

	開催日・会場	地区名（対象集落）	参加人数	男性	女性
1	11月27日（金） 北中生活改善センター	黒川俣地区 （大沢・大毎・北中・北黒川・ 荒川・中津原）	32 人	20 人	12 人
2	12月1日（火） 寒川生活改善センター	下海府地区 （今川・脇川・寒川・芦谷・越沢）	37 人	25 人	12 人
3	12月1日（火） 桑川生活改善センター	下海府地区 （浜新保・桑川・笹川・板貝）	13 人	10 人	3 人
4	12月2日（水） 小俣集落センター	中俣地区 （小俣・大代・雷）	30 人	13 人	17 人
5	12月2日（水） 中継公民館	中俣地区 （中継・山熊田）	9 人	8 人	1 人
6	12月4日（金） さんぽく会館	大川谷地区 （府屋地区ほか）	6 人	5 人	1 人
7	12月4日（金） 勝木・ゆり花会館	八幡地区 （勝木地区ほか）	13 人	11 人	2 人
計			140 人	92 人	48 人

3) 配布資料

①「地域の公共交通を考える」

地域の公共交通を考える① ～マイカー以外の移動手段(路線バス)はどうあるべきでしょうか？～

現在のバスは…

「定時定路線型」

- ・決められた曜日と時刻に
 - ・決められた路線・バス停を
 - ・決められた車両で
- 運行しています。

＜利用状況は…＞

- ・バス利用者は少なく、誰も乗っていない便もあります。
- ・採算が合わず、維持していくことが大変な状況です
- ・路線を維持するため、行政(税金)が費用の一部を負担しています。

＜だからといって…＞

- ・安易に減便または廃止してよいのでしょうか？
- ・山北地区では高齢化、過疎化(人口減少)が進んでいます。
- ・将来、運転ができなくなったとき、クルマに代わる移動手段が必要です。

＜山北地区のバスについて＞

- ◆4本の路線があります。
- ◆バス路線の無い集落もあります。
- ◆各路線1日4～6往復の便数です。
- ◆平均すると、利用者は1便あたり1～2人程度です。



1人でも多く乗ることがバス路線の維持につながります。



◎将来、移動手段(路線バス)はどのような形にしたいのでしょうか？

■現状のまま維持する？

A 好きな場所で乗車できるようにする

予め決められた時間帯の便で、乗る場所と降りる場所を事前に予約し乗車する。※予約の無い便は運行しない。
＜従来に比べ…＞バス停以外での乗降が可能。

B 好きな時間に乗車できるようにする

予め決められた路線で、利用したい時間帯のバスを事前に予約し乗車する。※予約の無い便は運行しない。
＜従来に比べ…＞時間的な制約が無く、利便性が向上。

C 特定の外出目的に便利なバスにする

高齢者や高校生などの目的や要望に沿った運行。
たとえば・・・
・病院の診察日等を考慮した運行日の設定
・高校の始業時間を考慮した運行時刻の設定 など

■便数を減らす・または廃止する？

地域の公共交通を考える② ～他の地域では様々な公共交通や新たな移動手段を導入あるいは検討しています～

A_既存の乗合バス運行の工夫

- ・従来の乗合バスのルートやダイヤ、料金システムを利用者のニーズに応じて再編する方法があります。



現在の乗合バス

C_デマンドバス

- ・利用者の需要(デマンド)に応じて、運行するもの。
- ・利用者は電話予約が一般的です。
- ・予約が無ければ運行する必要がなく、車両サイズも調整でき効率的です。
- ・予約状況に応じて、任意の経路を立ち寄ります。



のれんす号<胎内市>

下田地区デマンド交通実験運行<三条市>

このほか、以下の方法も事例として存在します。

B_コミュニティバス

- ・既存のバスサービスだけではカバーしきれないニーズに対応する乗合バス
 - ・福祉や通学など特定の目的の利用者を対象とする例が多い。
- [福祉バス、スクールバス、観光循環バス、住民バス、買い物バスなど]



福祉バス[にじやま号]
＜柏崎市＞

観光バス[ルネッサンス号]
＜村上市＞

住民バス[カナリア号]
＜新潟市江南区＞

D_民間送迎バスの活用

- ・主に民間事業者が送迎の目的で運行しているバスを有効活用するもの。事業者等の理解と協力が不可欠。
- ＜例＞
自動車教習所、学校、病院、大規模事業所、買い物などの送迎車

E_ボランティア輸送

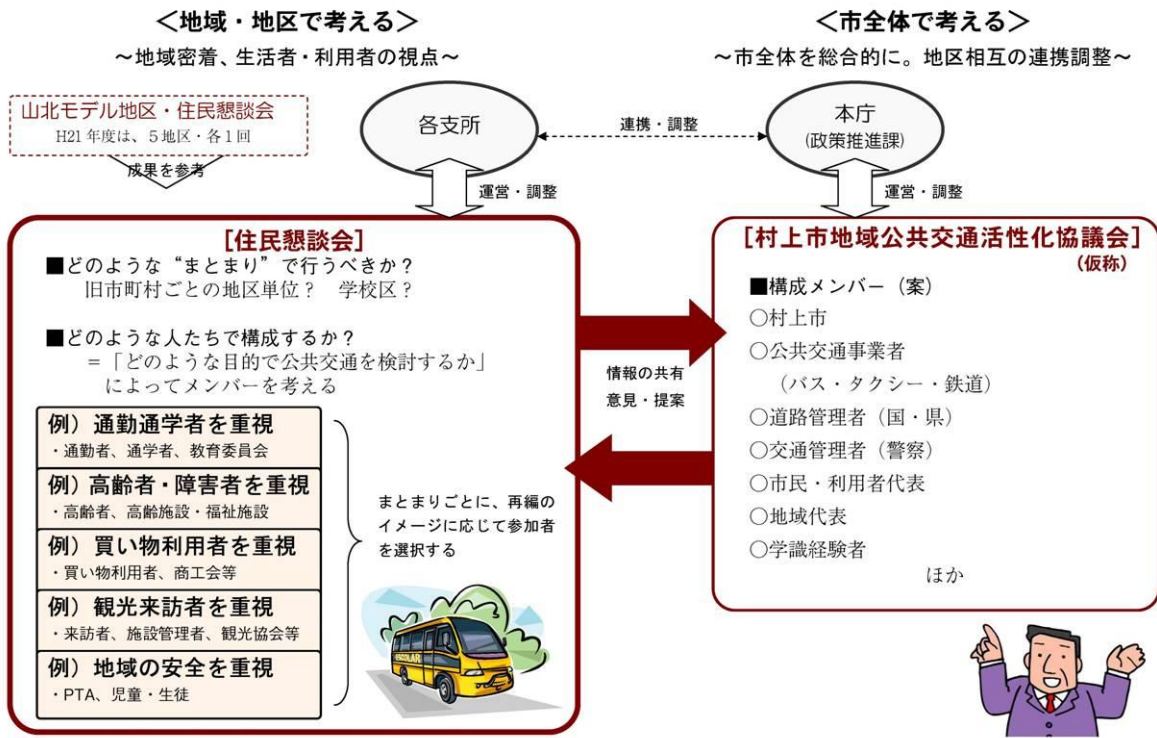
- ・同一集落・地域から同一方向へマイカーで移動する人に便乗する。いわゆる「相乗り」を斡旋するもの。
- ・公共交通でなく、地域の支え合いによる福祉施策の1つとして導入。

また既存の公共交通を利用しやすくする施策もあります。

例) パーク・アンド・ライド

- ・利便の良い駅やバス停付近まではマイカーで移動し、駅・バス停付近に駐車しそこから鉄道やバスに乗り換える方法。

地域の公共交通を地域で考える③ ～ 今後（H22年度以降）の取り組みのイメージ ～



（参考資料）新潟県内の事例

■福祉バス「にしやま号」（柏崎市） ①運行概要 高齢者の通院を目的として、旧西山町内全域で運行する。 ②運行日 週4日（路線により曜日が異なる）。 ③運行便数 3便（午前1便、正午1便、午後1便） ④利用料金 無料 	■住民バス「カナリア号」（新潟市江南区） ①運行概要 地域内で「生活交通協議会」を立ち上げ、乗合バスを運行する。 ②運行日 毎日運行。但し、平日のみ・土休日のみの便もあり。 ③運行便数 10便（午前5便、午後5便：平日） ④利用料金 大人150円 
■新発田市コミュニティバス（新発田市） ①運行概要 路線バスの撤退に伴い、代替手段として運行。地域が主体となつて考え、従来の運行エリアを拡充した。NPOが運行する。 ②運行日 元日除く毎日運行。 小中学校の通学バス扱いの便については、学有日のみ運行。 ③運行便数 平日往復39便（午前18便、午後21便） ④利用料金 地区内は大人100円。 地区をまたがった場合は大人200円。 	■デマンドタクシー「のれんす号」（胎内市） ①運行概要 路線バスに代わる利便性の高い乗り合い型タクシー。 運営主体は商工会で、タクシー業者に委託して運行する。 ②運行日 月曜から土曜。 但し、事前の予約及び利用者登録が必要となる。 ③運行便数 5～8便。予約が無い便は運行しない。 ④利用料金 大人300円 

村上市の公共交通に関するアンケート調査 結果概要[下海府地区]

平成21年12月1日
寒川生活改善センター

はじめに(経緯、ながれ)¹

～村上市の地域公共交通活性化に向けた取り組み～

◆平成21年度 公共交通総合連携計画※策定の準備

- 実態調査
- アンケート調査(高校生・高齢者等)
- モデル地区調査(住民懇談会)

村上市公共交通活性化検討委員会

◆平成22年度 公共交通総合連携計画策定

- 新たな公共交通のあり方、運行方法、実施体制等の検討
- 住民懇談会の開催
- 実証運行の計画

村上市地域公共交通活性化協議会(仮称)

◆平成23年度～ 実証運行と検証

- 計画に基づく実証運行や検証等

※地域公共交通の活性化及び再生を総合的かつ一体的に推進するための計画

アンケート実施内容

2

◆種類、配布数

世帯主用、65歳未満用、65歳以上用の3種類のアンケートを全ての世帯（2,426世帯）に配布。

◆配布日、配布回収方法

10月1日「広報むらかみ」配布にあわせ、総代の方を通じて配布。

回収も総代の方を通じて回収。

◆回収率

山北地区全体…1681枚（65.4%）

下海府地区 … 364枚（69.7%）

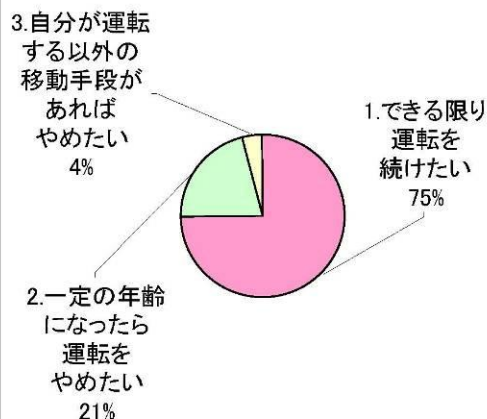
自動車の運転に関する意向

3

【どのくらいまで運転を続けたいですか？】

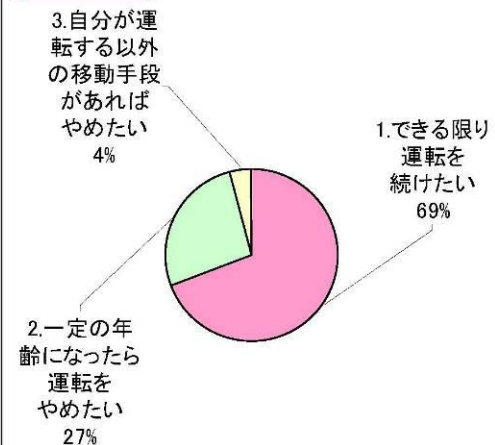
65歳未満

回答数=898



65歳以上

回答数=568



○65歳以上の方は、30%が「やめたい」と回答。
65歳未満の方でも、25%が「やめたい」と考えている。

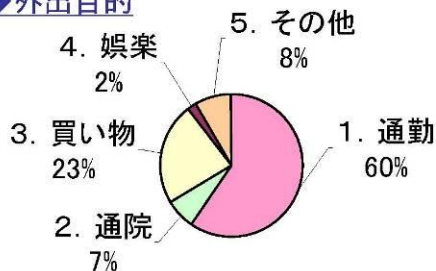
日常の生活行動【外出目的と移動手段】

4

65歳未満

回答数=996

◆外出目的



◆移動手段(公共交通)

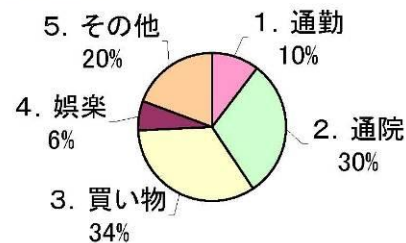
回答数=1024

- ・路線バス・・・2%
- ・鉄道・・・3%
- ・タクシー・・・1%

65歳以上

回答数=882

◆外出目的



◆移動手段(公共交通)

回答数=956

- ・路線バス・・・7%
- ・鉄道・・・7%
- ・タクシー・・・2%

○65歳未満は通勤が最も多い。

○65歳以上は買い物と通院でそれぞれ3割を占め、移動手段として公共交通を選ぶ割合が高いが、全体をみると割合は低い。

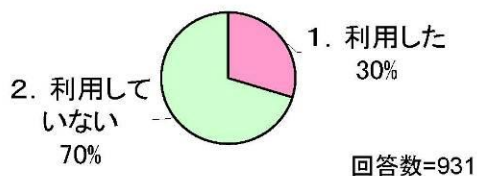
路線バスの利用について【状況、回数】

65歳以上

5

(山北地区全体)

◆過去1年間で利用しましたか・・・？



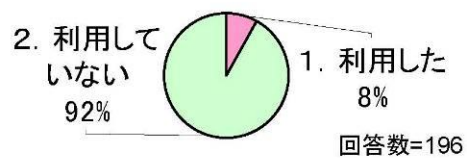
回答数=931

◆1か月で何回利用しましたか？

- ・1回以下・・・116人
 - ・2回～3回・・・75人
 - ・4回～6回・・・29人
 - ・7回～9回・・・2人
 - ・10回以上・・・16人
- 51%

(下海府地区)

◆過去1年間で利用しましたか・・・？



回答数=196

◆1か月で何回利用しましたか？

- ・1回以下・・・5人
 - ・2回～3回・・・5人
 - ・4回～6回・・・1人
 - ・7回～9回・・・0人
 - ・10回以上・・・0人
- 55%

○下海府地区で過去1年以内にバスを利用した人は全体に比べ少ない。

○利用者のうち、1ヶ月に2回以上利用する人は約5割である。

路線バスの利用について【理由】 65歳以上

6

◆利用する理由 ※30%以上に色付け

	山北地区全体 (回答数=264)	下海府地区 (回答数=15)
1. 他の移動手段よりも早く移動できるから	21 (8%)	0 (0%)
2. 他の移動手段よりも経済的に移動できるから	38 (14%)	7 (47%)
3. 冬季などの天候の悪いとき	56 (21%)	2 (13%)
4. 自動車が使えないとき	75 (28%)	4 (27%)
5. 他に移動手段が無いから	129 (49%)	3 (20%)

◆利用しない理由 ※30%以上に色付け

	山北地区全体 (回答数=556)	下海府地区 (回答数=154)
1. 他の移動手段のほうが早く移動できるから	203 (37%)	35 (23%)
2. 他の移動手段のほうが経済的だから	169 (30%)	32 (21%)
3. 目的地または自宅付近にバス路線が無い	157 (28%)	102 (66%)
4. バスの運行時刻や本数が自分に合わない	60 (11%)	8 (5%)
5. 徒歩や自転車で移動するため	45 (8%)	1 (1%)
6. 公共交通についてよくわからない	30 (5%)	8 (5%)

路線バスの利用について【要望】 65歳以上

7

◆運行状況について ※30%以上に色付け

	山北地区全体 (回答数=230)	下海府地区 (回答数=180)
1. 運行本数を増やしてほしい	104 (45%)	19 (54%)
2. 運行時間帯を拡大してほしい	32 (14%)	10 (29%)
3. 運行路線を延ばしてほしい	42 (18%)	22 (63%)
4. 鉄道とバスとの乗り換えの便を良くしてもらいたい	123 (53%)	18 (51%)
5. 運賃を安くしてほしい	97 (42%)	13 (37%)

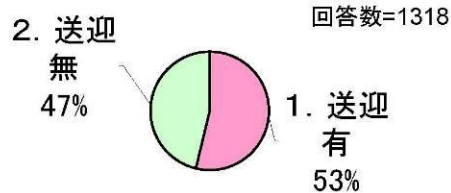
◆車両形態や停留所など ※30%以上に色付け

	山北地区全体 (回答数=124)	下海府地区 (回答数=122)
1. 床の低いバスを導入してほしい	102 (82%)	22 (100%)
2. バス停留所を増やしてほしい	28 (23%)	11 (50%)
3. バス停留所に屋根やベンチがほしい	42 (34%)	9 (41%)

○運行路線を延ばしてほしいという要望が約6割と高い。
○車両形態や停留所については、すべての項目で要望がある。

(山北地区全体)

◆家族内で送迎をしていますか？

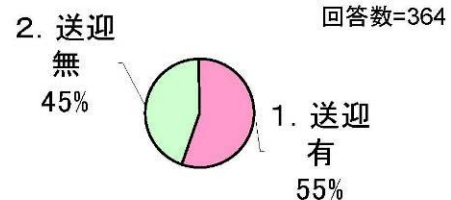


◆主な送迎目的と頻度

- | | |
|----------|-------------|
| ・通勤… 50人 | ・ほぼ毎日… 73人 |
| ・通院…396人 | ・週半分 … 49人 |
| ・買物…143人 | ・週1～2回…178人 |
| ・娯楽… 10人 | ・それ以下…361人 |

(下海府地区)

◆家族内で送迎をしていますか？

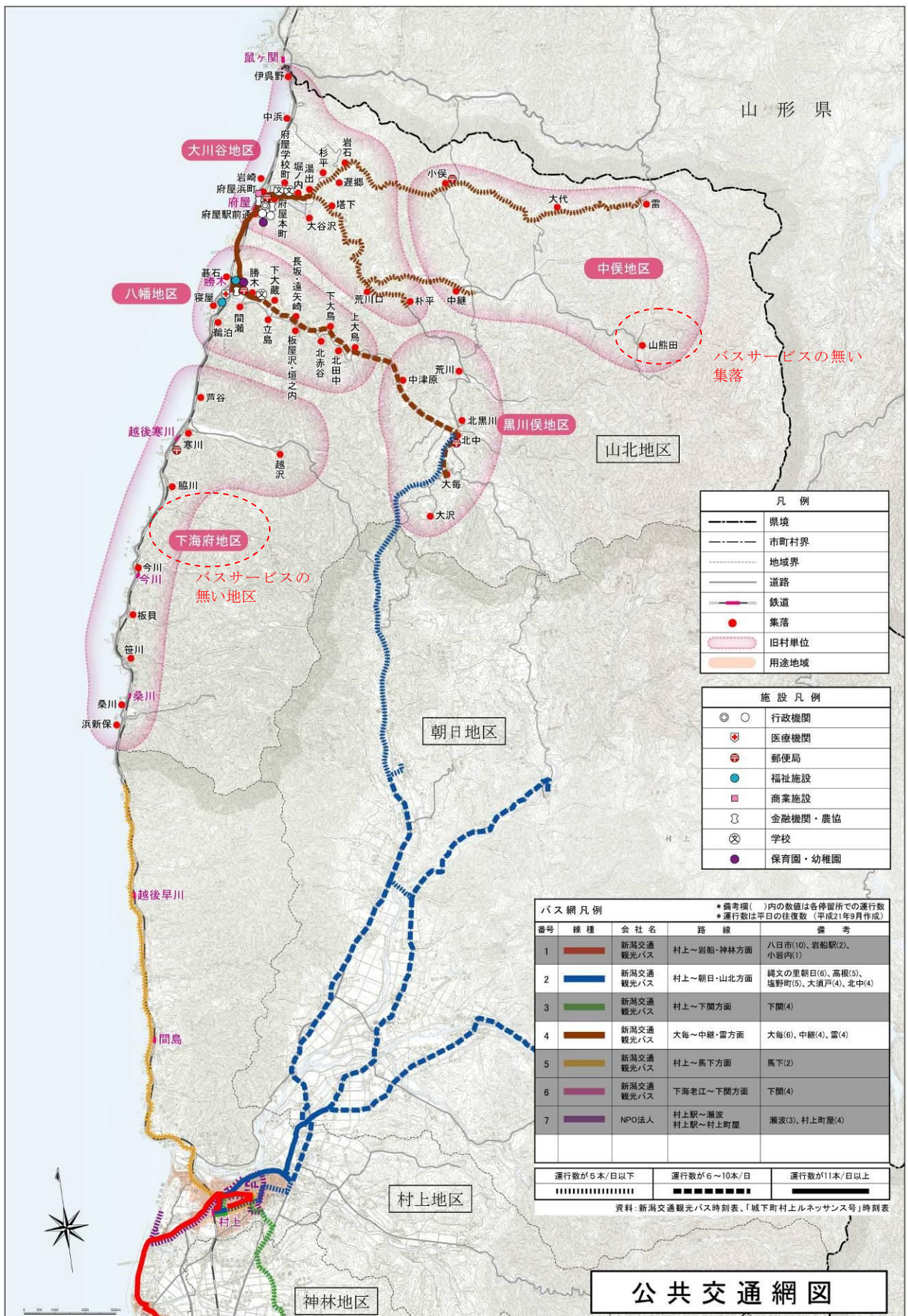


◆主な送迎目的と頻度

- | | |
|----------|------------|
| ・通勤… 9人 | ・ほぼ毎日… 8人 |
| ・通院…111人 | ・週半分 …12人 |
| ・買物… 42人 | ・週1～2回…54人 |
| ・娯楽… 1人 | ・それ以下…98人 |

- 半数以上の家族内で送迎を行っている。
- 通院目的での送迎が最も多く、半数以上である。
- 頻度は週に1回以下が多い。

③「公共交通網図」



4) 懇談会で出された主な課題、意見や住民ニーズ

①新たな運行方法等の提案

【運行方法の工夫について】

<意見・提案>

- ・集落から駅、集落から病院、病院からスーパーなど要望に応じて運行する形がいい。[黒川俣地区]
- ・路線バスがほとんど乗っていないのであれば、朝夕は定時バス、その他の時間帯はデマンド交通にしたほうがよい。[黒川俣地区]
- ・村上方面、府屋・鼠ヶ関方面の両方への交通ニーズがあるので、朝夕の通勤・通学時間帯にはコミュニティバスを、それ以外の時間帯はデマンドタクシーを運行する方法がよい。[下海府地区]
- ・朝の通院・通学、昼中など 1 日の時間帯に応じて移動するのがいい。[大川谷地区]
- ・運行する便数が多く、JR への乗り継ぎが良ければ理想だが、予算もあることなので現実的にはデマンドがいい。小型で便数を増やしたほうが利用できるし、経費も抑えられる。[中俣地区]
- ・地域にあった便乗型、乗合い型がよい。例えばスクールバスに便乗、徳洲会病院のデイケア送迎バスに便乗できるとよい。[下海府地区]
- ・新発田市のコミュニティバスは、通学、通院、福祉など様々な目的に合わせ利便もよく比較的うまくいっている。[黒川俣地区]
- ・循環型のバスであれば高齢者が時間を合わせやすい。[中俣地区]
- ・昔のように停留所でなくても、手を挙げたらバスが停まってほしい。[大川谷地区]
- ・運行回数を多くして、予約制で効率化を図ればいい。何しろ日中時間帯の移動が不便である。[大川谷地区]

<住民ニーズ・要望>

- ・車を運転しない人は医者や買い物も人に頼んでいて気兼ねがある。安く利用できるコミュニティバスを走らせてほしい。[下海府地区]

【スクールバスの有効活用】

<意見・提案>

- ・朝は路線バスの他にスクールバスが走っている。こんなに不経済なことはない。[中俣地区]
- ・スクールバスと一般のバスを分けないほうが良い。無駄が多く、もったないと感じる。[大川谷地区]
- ・スクールバスも遊んでいる時間帯があるので有効活用してはどうか。[大川谷地区]
- ・スクールバスに一般住民を乗せることはできないのか。区間限定(国道沿い最寄のバス停まで出るだけ)でもよい。[黒川俣地区]
- ・スクールバスとの乗り合いについては、不審者のこともあるので、子どもたちの安全性を考え慎重に判断してほしい。[下海府地区]

【通学・買い物・通院など目的に特化した交通】

＜意見・提案＞

- ・村上へ行く高校生の通学に小さいバスがあればいい。[大川谷地区]
- ・買物の為のバスは多様性があるし商店の利害関係もあるので難しい。[大川谷地区]
- ・村上から府屋もしくは「山北支所」までバス運行してはどうか。病院は、府屋の青木医院、徳洲会病院、村上病院、買い物は村上か府屋のエノモトが多い。買い物と通院に配慮したバスを希望する。[下海府地区]
- ・高齢者の通院は、送迎バスを運行している病院は問題ないが、庄内病院や村上病院へ便利なバスがあると良い。[大川谷地区]

＜住民ニーズ・要望＞

- ・病院は、どうしても具合が悪いときでもない限り一ヶ月に一回でも大丈夫だが、買い物は週に一回しなければならない。地域にも商店はあるが必要なものが無いこともあり、送ってもらって府屋や鼠ヶ関に買い物に行く。買い物に便利なバスがあるといい。[下海府地区]
- ・例えば 8 時 30 分頃出たら 9 時頃までに着くなど、住民の村上病院への通院等に合わせたバス時間に設定してほしい。[下海府地区]

【新たな路線の提案】

＜現状課題＞

- ・中浜方面（山形方面）は、庄内交通のバス路線が無くなってからは大変そう。[大川谷地区]

＜意見・提案＞

- ・村上から下海府までの路線を延長し勝木まで来るバスがあってもよい。[黒川俣地区]
- ・勝木から雷へ行く路線を大代から峠を越えて中継へ結んではどうか。[黒川俣地区]

＜住民ニーズ・要望＞

- ・山北から村上市街地へ、乗り継ぎがなく直通で行きたい。[黒川俣地区]
- ・下海府地区は、J R も本数が少ないので朝早い電車で行っても帰りが午後 2 時過ぎで一日かかる。大きなバスは要らないから村上方面へ行くバスがあるといい。[下海府地区]

②特定の問題・課題

【バス料金について】

＜現状課題＞

- ・路線バスより J R を使う一番の原因は料金が高いこと。本当は、自宅近くから乗り降りできるバスの方が便利だ。[黒川俣地区]

＜意見・提案＞

- ・バス料金は高く感じない。自分で運転しないので、ちょうどよい料金だ。[中俣地区]
- ・バス料金がすごく高い。高校生の朝夕については、半額や何%割引として、あとは市が負担するようにしては。[大川谷地区]

＜住民ニーズ・要望＞

- ・バス料金は安い。勝木まで用事で行くときにバスは 700 円。別の日にタクシーを利用したら 3,600 円かかった。運転免許を持たない人にとっては、バスはとても大切。どんな形でもいいので続けて欲しい。[中俣地区]

【高校生の送迎について】

＜現状課題＞

- ・高校生の送迎は一人一台車を使うのでとても無駄。子どもを送って戻ってきから会社に出勤していることも無駄。CO₂がたくさん排出され環境にも悪い。[黒川俣地区]
- ・朝は勝木駅周辺で毎日渋滞がおきており、駅周辺住民の迷惑になっている。[黒川俣地区]

＜意見・提案＞

- ・送迎車が電車時間ギリギリに飛ばしてくるので、交通安全が心配。公共交通だと安全なので高校生のバスをぜひ何とかしてほしい。[大川谷地区]

【ＪＲとの乗り継ぎの悪さ】

＜現状課題＞

- ・どこへ行くのも１～２時間バスを待つ。予約制だと乗りたいときに乗れるのでいい。現状では、行って用事を済ませてから２～３時間待つことが当たり前。[中俣地区]

＜意見・提案＞

- ・電車との乗り継ぎが悪い。駅を出てバスのお尻を見たことが何度かある。「特急いなほ」が駅に着いてバスが出るまで４分しかなく足の悪い人は間に合わない。[中俣地区]

＜住民ニーズ・要望＞

- ・冬場や天候の悪いとき、体調の悪いときなどは、バスやＪＲを利用している。府屋まで電車で帰ってきてもそこからバスがないので困る。[中俣地区]

【バスのサイズ、形態について】

＜現状課題＞

- ・利用者がほとんど無いのに大きなバスが走っていることを日頃からとても無駄だと感じている。[大川谷地区]
- ・新潟市など利用者が多いところは新しい低床のバスが入っているが、勝木や下関など利用者の少ない営業所には古くなったバスしかない。高齢者の方も乗り降りが大変。[大川谷地区]

＜意見・提案＞

- ・車を小さくして、きめ細かく運行できるようにすれば良い。[大川谷地区]

＜住民ニーズ・要望＞

- ・小さいバスだと集落の中まで入ってもらえて便利だ。[中俣地区]

【車両、施設のバリアフリー化】

＜住民ニーズ・要望＞

- ・電車だと高齢者は駅の上り下りが大変だと聞く。村上方面のバスをもっと利用しやすく工夫してほしい。[黒川俣地区]
- ・バス路線のない下海府地区の場合、80歳以上の方が医者や買い物に行くとき移動手段としてＪＲを使うが駅で危険を伴う。バスの方が、乗り降りが安全。[下海府地区]

【交通空白地域について】

＜現状課題＞

- ・越沢では路線バスもＪＲもなく、通勤通学をマイカーに頼らざるを得ない。しかし、これから高齢化が進めば、マイカーの運転も心配される。５年後１０年後はどうなるのか心配である。そして、これから一人になる高齢者も増えてくると思うが、これも心配である。

[下海府地区(越沢)]

③その他の意見

＜現状課題＞

- ・地域のつながりや住民の足が一番大事だが、バスは通年観光につながる。バス試験運行を継続・延伸し地域の活性化を図ってほしい。[下海府地区(桑川)]

＜意見・提案＞

- ・よそで良い事例があったら、マネをしてすぐやればよい。道路が開通すれば、交通環境もまた変化する。将来の変化に対応するためにもすばやく計画を作るべき。[黒川俣地区]

＜住民ニーズ・要望＞

- ・村上病院へ行くときにバスが利用しにくい。高齢者にとって簡単で分かりやすいしくみにしてほしい。[黒川俣地区]
- ・地域間で不公平感のない形で公共交通が運行されること。[下海府地区]

開催状況



下海府地区（寒川生活改善センター）



中俣地区（小俣集落センター）



八幡地区（勝木・ゆり花会館）



発言の様子